

## 鳥取県労福協『福祉カンパ活動』

### こども食堂支援として、冷蔵庫と冷凍庫を贈呈しました

鳥取県労福協は、1979年より将来を担う子どもたちが、健康で豊かな生活を送ることを支援する、福祉カンパ活動を行っています。（今年度で42回）

今年度は、皆さんから募ったカンパ金を、県内の子どもたちを支援している「こども食堂」への支援に活用することといたしました。

労福協（ライフサポートセンターとっとり）も賛助会員となっている、とっとりこどもの居場所ネットワーク“えんたく”では、こども食堂等への食材提供体制の拡充強化を進めていましたが、地域の拠点の設置にあたり、食材を備蓄するための機材が必要ですが、その調達が出来ず苦慮されていました。

地域のこども食堂への、より安定的な食材の供給につながることから、鳥取県労福協より、“えんたく”に冷蔵庫と冷凍庫各2台を寄贈することとしました。

このたび冷蔵庫や冷凍庫が配備されることで、鳥取県生協からの新たな食品提供をはじめ、地域の企業等から、より多くの生鮮食品や冷凍食品の受け入れ、配送されるシステムが出来上がり、これまで以上の多くの食材が子供たちに届けることが出来るようになります。

皆様からの温かいカンパ金にお礼申し上げます。とともに今年度カンパ金の活用についてご報告をいたします。

\*今回、“えんたく”は、中部・西部にそれぞれ拠点を配置し冷蔵庫と冷凍庫を設置しました。

・中部：ほくほくプラザ（北栄町） ・西部：山陰福祉の会（伯耆町）



贈呈セレモニー とき 2021年3月24日(水) ところ 鳥取県生協本部

鳥取県労福協 出席者 本川理事長(前列左から3人目) 安部専務理事(後列左から3人目) 吉田監事(写真撮影)



日本海新聞  
2021年3月25日(木)掲載

寄付した。24日、鳥取市河原町布袋の県生協本部で披露目式が行われた。県生協はこれまで、中西部では生活困窮者向けに食材を提供していたが、県労働者福祉協議会が中西部各1カ所に業務用冷凍庫と冷蔵庫を寄付したことで大量の食材保管が可能となり、中西部のこども食堂への食材提供も可能となった。県が態勢づくりの調整を担った。

式には県生協の井上約理理事長や同協議会の本川博孝理事長、えんたくの株本俊夫会長、平井伸治知事らが出席。井上理事長が「持続可能な社会づくりのために地域ネットワークを広げていきたい」と述べ、株本会長は「いろいろな団体が関わったことは画期的。こども食堂のメニューが広がる」と話した。(岡宏由紀)



## 寄付食材保管用 冷蔵庫・冷凍庫

鳥取県労働者福祉協議会より寄贈（中部・西部拠点に冷蔵庫・冷凍庫各1台ずつ設置）



## こども食堂への食材提供の流れ

